

令和4年度 神奈川県看護教員表彰受賞者名簿

別紙

氏名	所属施設名	職名	功績概要
いぬい ひさえ 乾 久枝	神奈川県立 よこはま看護専門学校	科長補佐 (看護師)	母性看護学、健康教育演習担当教員として、看護実践及び基礎看護技術教育における知見を広め、他の専任教員への模範として教員育成に寄与した。また、24年間に亘り学校運営評価、教務調整等を通して基礎看護教育を支え、県内医療機関に多くの看護師を輩出し貢献した。 新型コロナウイルス感染症拡大下、県内ワクチン接種推進チームに率先して従事し県民の信頼を得た。
おおやま あきこ 大山 晶子	神奈川県立 平塚看護大学校	看護科長 (看護師)	4年制看護師基礎教育機関開設準備、申請時から学内外の連携を作り、主担当を務めた。新カリキュラムに合わせた多くの実習施設の調整担当を担い、他の専任教員の模範を示した。 看護科長として創意工夫を重ねた教育実践を行い、その成果を適時に公表し学内外での基礎看護教育の向上に貢献した。
きくち かずみ 菊地 一美	横浜市病院協会 看護専門学校	実習調整 担当係長 (看護師)	精神看護学担当教員、学生指導及び実習調整担当係長として、多くの学校や病院と連携を取り県内の基礎看護教育に24年間に亘り貢献した。「精神看護学」科目設立時のカリキュラム構築と同時に実習指導者講師を担当し精神看護学の質向上に大いに寄与した。学年縦断的な10年間のプロジェクト学習を開発リードし模範を示した。
わたなべ つきこ 渡部 月子	松蔭大学看護学部 看護学科	教授 (看護師)	県内保健師としての実績を活かし、在宅看護論、公衆衛生看護学の担当教員として神奈川県の基礎看護教育と研究に31年間携わり多くの看護師、保健師の輩出と研究蓄積に貢献した。 地域包括ケア医療に対応した学士看護師教育への高い熱意のもと、看護および他専門分野の教員との連携力と指導力を発揮した。

(氏名 五十音順)